

# 齋藤貞子先生からの遺贈寄付に感謝 ～齋藤貞子先生との思い出～

## 感謝状

齋藤貞子様

多大なるご寄付を賜り厚くお礼を申し上げます。  
ご厚志は、公益財団法人横須賀三浦教育会館の維持・管理および活動のため、有効に使用させていただきます。  
ご冥福をお祈りし、感謝の意を表します。

2023年8月30日

公益財団法人横須賀三浦教育会館

返子小学校において、齋藤先生と同じときに5・6年生を担当して初めて卒業生を送りました。当時、私は20代の未熟な教員でしたが、先生は、経験豊かで活動的な教員でした。ほとんど年休をとることもなく、運動着姿で熱心に教育活動を行っていた姿が思い出されます。

この一緒だった2年間以外は、ほとんどお会いして話すこともなく過ぎました。私が教職を退き、2002年に横須賀三浦教育会館の役員に就任、2010年に教育会館が公益財団法人として認定されてから数年後に、先生から教育会館に10万円の寄付が送られてきました。先生が教育会館のことを思っていてくださったの

を知り感激してお礼の手紙を出しました。

その中には、教育会館ふれあいコンサートの招待券を入れました。教育会館の近くに住んでいる先生と直接お会いしてお礼を申し上げたかったからです。シャイな先生は、教育会館にお出でになることはありませんでした。その後、教育会館に遺贈寄付を考えているとの話を伺いました。齋藤貞子先生の受遺者・遺言執行者である呉東弁護士からは、「先生が金子さんを知っていると言っている」との話も聞きました。

数年が過ぎた昨年末に、先生の訃報の知らせがありました。年が明けた2023年1月6日が告別式となり参列しました。参加者は呉東弁護士、齋藤理事長、金子、同僚だった方、地域の関係者。式場には、たくさんの花と遺影が飾られていました。95歳の最後まで毅然と先生らしく生活され、周りの人からも愛され信頼されていたという話を伺いました。

告別式後、遺骨を納めるため逸見の浄土寺に向かうことになりました。私は先生の遺影を持ち寺に着く間、若い時の非礼のお詫びと遺贈寄付へのお礼の話ができたような気がしました。公益財団法人横須賀三浦教育会館は、2024年度には60周年を迎えます。先生からの遺贈寄付を有効に使用し、地域の教育文化センターとしてさらなる発展を図りたいと思います。



「おやこ de アート」2023. 7. 29/30



「ウクライナ支援コンサート」2022. 4. 9